



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年8月12日

上場会社名 日本エアテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6291 URL http://www.airtech.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平沢 真也  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 大重 一義 TEL 03 (3872) 9192  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	4,165	5.0	177	△2.4	223	△12.1	147	△5.4
27年12月期第2四半期	3,967	8.3	181	137.0	254	43.7	156	26.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	16.38	—
27年12月期第2四半期	17.26	17.25

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	13,262	8,958	67.5	1,005.72
27年12月期	13,475	9,042	67.1	998.52

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 8,956百万円 27年12月期 9,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	13.00	13.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年12月期の業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,200	1.4	450	18.3	530	2.6	320	4.8	35.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	9,060,500株	27年12月期	9,060,500株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	154,569株	27年12月期	4,509株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	9,027,000株	27年12月期2Q	9,050,745株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の監査手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
4. その他 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、英国の欧州連合離脱の影響、アジア諸国及び中国経済の成長鈍化、円高による輸出の低迷等、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社における事業環境は電子工業分野では、海外における液晶テレビ等の大型パネルに関連する設備投資の増加、国内においてはスマートフォン関連及び車載電子機器関連の部品製造設備投資が増加致しました。一方、バイオリジカル分野においては、再生医療、製薬工業及び食品工業への設備投資が堅調に推移致しました。

このような状況の下、電子工業分野では、半導体・液晶製造、搬送装置及び電子部品メーカーを中心に、そしてバイオリジカル分野では今後成長が期待できる再生医療分野を対象に営業強化を図り、顧客ニーズに合致した製品開発と改良を推進してまいりました。「ロボット装置付エアーアイソレーションシステム」等他社にない特徴を有する製品開発を行い、販売面では製品説明会開催及び展示会出展等販売強化に努めてまいりました。

製品別の販売状況は、「クリーンルーム」は減少しましたが、「クリーンブース」「ファンフィルターユニット」「無菌アイソレーター」等が増加したことにより、前年同期比では増加致しました。

収益面におきましては、大口案件の選択受注及び基幹部品の内製化による原価管理の徹底等を実施してまいりましたが、他社との競争激化により前年同期比では減益となりました。

なお、海外企業との連携を深めるために、PEA社（ドイツ）からの滅菌装置の輸入販売及びTHE LONG社（ベトナム）社員への研修を開始致しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高41億65百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益1億77百万円（同2.4%減）、経常利益2億23百万円（同12.1%減）、四半期純利益1億47百万円（同5.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は132億62百万円と前事業年度末に比べ2億12百万円(1.6%)の減少となりました。

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (資産)

流動資産は104億21百万円であり、前事業年度末に比べ1億71百万円(1.6%)の減少となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金が3億24百万円減少したことによるものです。

固定資産は28億41百万円であり、前事業年度末に比べ41百万円(1.4%)の減少となりました。主な内訳は、有形固定資産の減価償却費28百万円の計上があったことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は43億3百万円であり、前事業年度末に比べ1億29百万円(2.9%)の減少となりました。

流動負債は33億45百万円であり、前事業年度末に比べ34百万円(1.0%)の減少となりました。主な内訳は、1年内償還予定の社債の振替が1億円ありましたが、未払法人税等が1億18百万円減少したことによるものです。

固定負債は9億58百万円であり、前事業年度末に比べ94百万円(8.9%)の減少となりました。主な内訳は、1年内償還予定の社債の振替1億円によるものです。

#### (純資産)

純資産は89億58百万円であり、前事業年度末に比べ83百万円(0.9%)の減少となりました。主な内訳は、四半期純利益1億47百万円を計上しましたが、配当金1億17百万円を支出したこと及び自己株式の取得98百万円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ1億77百万円増加し、54億62百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況はつぎのとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の営業活動の結果、得られた資金は、3億87百万円（前年同期比99百万円増）となりました。これは主に、売上債権の減少3億24百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の投資活動において使用した資金は、13百万円（前年同期比6百万円の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得10百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間の財務活動において使用した資金は、1億81百万円（前年同期比23百万円の支出増）となりました。これは主に、配当金の支払額1億17百万円があったことによるものです。

(4) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、各種経済政策の効果などから、公共投資及び企業の設備投資拡大が見込まれる一方で、欧州の債務問題、中国その他新興国経済の先行き不安などに伴う国内景気の減速も懸念されます。

これらの状況を踏まえ、平成28年12月期の業績予想につきましては、現時点では平成28年2月12日に発表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,811,195	5,999,840
受取手形及び売掛金	3,596,747	3,272,578
有価証券	95,584	84,527
商品及び製品	285,320	467,541
仕掛品	519,336	328,547
原材料及び貯蔵品	219,085	210,888
その他	68,420	59,644
貸倒引当金	△2,663	△2,301
流動資産合計	10,593,026	10,421,266
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,691,534	1,691,534
その他	777,028	756,943
有形固定資産合計	2,468,562	2,448,477
無形固定資産		
	36,067	40,654
投資その他の資産		
その他	385,348	359,785
貸倒引当金	△7,497	△7,497
投資その他の資産合計	377,851	352,288
固定資産合計	2,882,481	2,841,421
資産合計	13,475,508	13,262,687
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,184,487	2,192,428
短期借入金	300,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	21,420	21,420
未払法人税等	188,367	70,176
1年内償還予定の社債	-	100,000
賞与引当金	65,427	64,923
受注損失引当金	10,642	5,758
その他	609,759	540,429
流動負債合計	3,380,104	3,345,136
固定負債		
社債	200,000	100,000
長期借入金	83,955	73,245
退職給付引当金	725,503	731,788
その他	43,397	53,689
固定負債合計	1,052,856	958,723
負債合計	4,432,960	4,303,860

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,501,723	1,501,723
資本剰余金	1,509,143	1,509,143
利益剰余金	6,019,352	6,049,484
自己株式	△3,445	△101,707
株主資本合計	9,026,773	8,958,642
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,774	△1,775
評価・換算差額等合計	15,774	△1,775
新株予約権		1,960
純資産合計	9,042,548	8,958,827
負債純資産合計	13,475,508	13,262,687



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,967,074	4,165,315
売上原価	3,122,217	3,288,984
売上総利益	844,856	876,331
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	112,073	126,907
役員報酬	47,160	47,965
給料	218,332	219,818
賞与引当金繰入額	16,565	18,326
退職給付費用	4,935	9,471
貸倒引当金繰入額	4,138	△362
その他	260,331	277,146
販売費及び一般管理費合計	663,538	699,273
営業利益	181,318	177,057
営業外収益		
受取利息	719	537
受取配当金	60,368	55,977
その他	14,784	9,746
営業外収益合計	75,872	66,262
営業外費用		
支払利息	2,724	2,472
為替差損	425	15,507
その他	27	2,049
営業外費用合計	3,177	20,029
経常利益	254,013	223,290
税引前四半期純利益	254,013	223,290
法人税、住民税及び事業税	78,725	53,024
法人税等調整額	19,042	22,406
法人税等合計	97,767	75,430
四半期純利益	156,245	147,859

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	254,013	223,290
減価償却費	34,343	33,434
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,012	△362
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,234	△503
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27,335	6,285
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,667	△4,884
受取利息及び受取配当金	△61,088	△56,507
支払利息	2,724	2,472
売上債権の増減額 (△は増加)	△324,958	324,168
たな卸資産の増減額 (△は増加)	43,946	16,765
仕入債務の増減額 (△は減少)	324,221	7,941
その他	△39,356	△43,320
小計	270,761	508,780
利息及び配当金の受取額	61,117	56,593
利息の支払額	△2,879	△2,492
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△40,398	△175,081
営業活動によるキャッシュ・フロー	288,601	387,800
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△267,923	△268,036
定期預金の払戻による収入	267,821	267,927
有形固定資産の取得による支出	△2,415	△10,476
その他	△4,744	△2,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,261	△13,437
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300,000	350,000
短期借入金の返済による支出	△350,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△19,110	△10,710
配当金の支払額	△88,057	△117,109
株式の発行による収入	5,292	—
自己株式の取得による支出	△6	△98,262
その他	△6,023	△5,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	△157,905	△181,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△184	△15,611
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123,249	177,479
現金及び現金同等物の期首残高	5,315,189	5,285,038
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,438,438	5,462,517

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得により、自己株式が98,224千円増加し、当第2四半期会計期間末において101,707千円となっております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成28年6月9日をもって取得を終了しております。

4. その他

該当事項はありません。